

長久手市行政評価票 (A票：事業評価票)

事業番号	52	事業名	在宅介護支援事業	担当部課	福祉部長寿課
基本情報	第6次総合計画・基本目標	4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち		決算書ページ	—
	行政改革指針・重点課題	—		会計区分	一般会計
	法定受託事務の有無	無		予算区分(款一 項 一 目)	
	その他(関係計画、要綱等)	有	長久手市紙おむつ助成金支給要綱、訪問理美容サービス事業実施要綱、家族介護慰労金支給事業実施要綱	3-1-2 老人福祉費	
事業開始の背景、経緯等	高齢者の生活環境の改善を支援し、健康的な日常生活の維持を図ることで、その福祉の増進に資することを目的とする。				
市民・民間事業者との連携協働の可能性	民間事業者とのみ協働可		(両者と協働不可の場合はその理由)		

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 加齢や認知症の進行等により、心身機能が低下した高齢者等に対して、生活環境の改善のための支援を行うことで、健康的な日常生活の維持を図る。				
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市内在住の満65歳以上の市民等				
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 高齢者等が、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを続けることができるようにする。				

項目	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
			(2016)	(2017)	(2018)	(2019)	(2020)
事業費(A)	千円	予算	5,939	6,391	6,547	6,547	6,607
		決算	6,073	5,948	6,053	6,635	
人件費(B)	千円	決算	—	—	1,312	1,296	
総コスト(C)=(A+B)	千円	決算	6,073	5,948	7,365	7,931	
事業対象の数(D) (R2年度は想定数)	人		8,763	9,055	9,349	9,580	9,804
対象あたりコスト(C/D)	千円		1	1	1	1	

成果指標 (事業の意図を反映する指標)	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
			(2016)	(2017)	(2018)	(2019)	(2020)
利用者数	人	目標	158	165	181	190	195
		実績	183	176	187	198	
(指標の設定根拠)			(数値目標の根拠)				
当該事業全ての利用者数で達成度が把握できるため。			各サービス利用者数の近年の増減傾向より設定				
(前年までと変更した場合はその理由)							

これまでの振り返り	目標達成状況・分析コメント	(成果指標等の目標に対する達成状況・分析状況や進捗状況など) 目標値を達成しており、着実に高齢者等の生活の支援を行えている。
	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) ケアマネージャーに直接制度説明する機会を設けるなど、制度周知に努めている。
	改善ポイント	(改善が必要なこと、改善の方法など) 事業利用者に偏りが見られる。

事業を構成する事務事業①	事務事業①	紙おむつ助成事業						
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
	(1) 市民参加の延べ人数	人	見込 実績					
	(2) 【アクションプラン(総合計画)の 指定の指標】		見込 実績					
	(3) 助成金支給人数(実人数)	人	見込 実績	155 171	179	150	150	150
	<備考:活動の概要(R1年度(2019))> 利用者登録人数: 203人 助成金支給人数: 第1回28人、第2回48人、第3回130人							今後の方向性

事業を構成する事務事業②	事務事業②	訪問理美容サービス事業						
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
	(1) 市民参加の延べ人数	人	見込 実績					
	(2) 【アクションプラン(総合計画)の 指定の指標】		見込 実績					
	(3) 補助金支給人数(実人数)	人	見込 実績	35 27	29	25	25	25
	<備考:活動の概要(R1年度(2019))> 利用者登録人数: 32人 補助金支給人数(金額): 第1回1人、第2回26人							今後の方向性

事業を構成する事務事業③	事務事業③	家族介護慰労金支給事業						
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
	(1) 市民参加の延べ人数	人	見込 実績					
	(2) 【アクションプラン(総合計画)の 指定の指標】		見込 実績					
	(3) 利用者数	人	見込 実績	1 0	1	—	—	—
	<備考:活動の概要(R1年度(2019))> 近年利用実績がない状態が継続している。							今後の方向性

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 支援を必要としている人に確実な支援ができるよう、制度の周知及び利用方法の改善を進める必要がある。
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 今後の急速な高齢化に伴い、現行制度では近い将来に財源不足となることが予測されるため、介護予防・日常生活支援総合事業(新しい総合事業)の導入に伴い事業の見直しが必要と考えられる。

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当による意見	・行政改革の重要課題事業に基づき、見直しを進めてください。 ・各種事業の受益者負担の割合を見直してください。(所得等に応じて1~3割など幅を持たせる など) ・紙おむつ助成については事業費が増大しているため、事業の見直しを進めてください。
内部意見への回答		